

国保／介護保険／地デジ

広森 すみ子 議員
(日本共産党)



◆高すぎる国保税、滞納者対応

所得300万円、夫婦子どもの4人世帯の国保税は30万円にもなる。民主党政権は「一般会計からの繰入れをやめて国保税を値上げせよ、滞納者から取立てよ」と負担に追い討ちをかけている。①市長はこの現状をどう考えるか ②滞納者に対する財産調査、差し押さえる状況は

市長

①国民健康保険税は、医療費の増額に見合う保険税を確保するため税率を改定してきたが、景気の低迷などで税収が伸び悩んでおり、今後の税率改定は避けて通れないと考える。

総務部長

②21年度は、預貯金などの債権で224件、滞納処分税額で約1千740万円。

◆国保広域化はさらなる値上げか

国保はどの市町村も赤字なのに、「広域化」しても改善する見込みがない。国庫負担を増やせば値下げができる。国に要求を。

保健担当部長

国庫負担や県補助の増額は、引き続き埼玉県国民健康保険団体連合会などを通じて要望していく。

◆家族介護、介護保険法の見直し

①家族介護のため退職・転職や心労負担で追い詰められるケースが多い。支援策の充実を ②介護保険法改定に向

け、サービスの利用制限、介護現場の人手不足、厳しい労働条件など現場の声を国に上げていく必要がある

保健担当部長

①職員の各種相談、地域包括支援センターで22年度上半期に介護予防、医療、保健、介護方法など延べ1万2千件の相談や認知症サポート養成講座も積極的に展開してきたほか、安定的なサービス供給量の確保を基軸に、要介護高齢者を在宅で介護している方に介護者手当や慰労金を支給している。また、常時失禁のおそれのある要介護認定者には紙おむつ給付を行い、介護者の負担軽減を図っている。

◆テレビ難民はおきないか

地上デジタル放送への完全移行の期限が迫っている。経済的に困難な人、基地にかかわる電波障害対策は期限までに合うか。

総合政策部長

期限は広報紙で周知しているが、7月までは毎月掲載する。また、地デジ相談会が6月から8月までエントランスホールに常設され、無料で受信状況を測定するサービスも実施される。基地が原因の受信障害は、関係団体との協議で対策を進める。

がん対策／教育環境の整備

磯野 和夫 議員
(公明党)

◆がん検診受診率50%達成を

わが国は、3人に1人ががんで亡くなるという「がん大国」であるが、がん対策は遅れている。特にがん検診受診率は、欧米の7〜8割に対して、日本は2割程度となっている。

①当市における受診率と取り組みの現状は ②近隣市との比較はどうか

③乳がん検診などの無料クーポン券への評価は ④2011年度末までに「がん検診受診率50%以上達成」の目標に

対する取り組みは ⑤受診率目標達成のため、意欲的でより効果的な施策が必要と考えるが、どうか

保健担当部長

①21年度の検診の受診率は内視鏡を含む胃がん14.5%、肺がん30.7%、大腸がん17.3%、乳がん20.2%、妊婦健診を含む子宮がん17%。取り組みは、胃・肺・大腸がん検診の国の対象が40歳以上に對し市では30歳以上に拡大。女性には40歳以上に乳がん、20歳以上に子宮がん、男性には前立腺がん検診を実施。②所沢・入間・飯能・日高市と比べ、各検診とも狭山市の受診率が一番高い。③子宮頸がん検診は、前年度に20歳から40歳の5歳節目年齢に達した5千102人で受診率18.9%。乳がん検診は、前年度に40歳から60歳に達した5歳節目年齢5千401人



で受診率28.6%。ともに受診率が上がっている。④がん検診と特定健康診査の同時受診を促し早期申し込み、早期受診を呼びかける。⑤女性特有がん検診推進事業で受診率が向上し、対象者以外の受診にも効果があるため事業を継続し、受診の促進について、ポスターや回覧など受診率向上に努める。

◆小・中学校へのエアコン早期設置を

現状の年1校のエアコン設置工事はペースでは、全学校設置完了までに10年かかることになる。しかし、近年の夏の暑さを考えると、数年で完了させる必要があるのではないか。他の自治体でも対応を早める動きが出ている。幸い当市では基金残高が潤沢になってきている。基金の活用など何らかの方策を考え、思い切って集中的に前倒しで実施すべきと考えるが、どうか。

生涯学習部長

改修は防衛省の補助金を予定。北関東防衛局と追加の補助採択を協議し、あわせて一般財源確保の見極めを行い、補助採択が可能であれば改修計画を調整し、前倒しで設計を行う。補助内示が早ければ、23年度中にも設計予算の補正を考えていく。

総合政策部長

防衛省の補助、基金の状況、財政収支見込みを踏まえ検討する。

子どもたちに夢と希望を

新良 守克 議員
(志政会)

要望に込められるよう努力していく。生涯学習部長 ②公式野球場の規模と必要な用地の面積、建設費と整備手法を調査・検討している。野球場建設には、特に用地の確保と建設費を賄う財源の確保も課題であり、今後さらに具体的な検討を進めていきたい。

◆公式野球場建設について

①昨年8月から2カ月間、公式野球場建設推進の署名活動を行い、1万5千617名の賛同とご理解をいただきました。11月に志政会代表と野球連盟代表者により要望書を市長へ提出しましたが、市民の熱い思いを市長はどのよう

市長

に受け止めているのかお伺いします ②昭和51年の請願採択から35年を迎えるが進捗状況はどうなっていたのか。また、今後の課題としてどのようなことが考えられるか

市長

①昨年3月に策定したスポーツ振興計画で、新たな屋外スポーツ施設の整備について、民間活力の導入を視野に入れ推進すること、さらに今回策定した第3次総合振興計画の後期基本計画でも、新たな屋外スポーツ・レクリエーション施設の整備に向けて推進を図ることを明記した。整備手法や財源などさらに検討の熟度を深めるなど、



子どもの幸福／障がい者の住まい

高橋ブラクソン久美子 議員
(無所属)

◆子どもの幸福を願って

①狭山市の子どもの虐待の実態はどうですか ②児童養護施設から帰って来た子どもに対してどのようなケアを行っていますか ③児童養護施設にいる狭山市民の子どもの実態はどうですか ④なぜ狭山市には児童養護施設が無いのですか

福祉部長

①21年度は身体的虐待7件、心理的虐待12件、ネグレクト14件。②事情をよく聞き、相談や支援に応じていく。③22年12月末で児童養護施設10施設に15名、乳児院2施設に2名、児童自立支援施設1施設に2名が入所。④事情のある児童の育成には高い専門性や使命感が必要。立地条件や地域の理解協力が不可欠なことも考えられる。

学校教育部長

①今年度、学校が児童相談所へ通告した虐待は2件。一時預かりとなったが、現在は通学している。

◆障がい者の住まいと安全

①狭山市における障がい者の実態はどうですか。障がい者はどんな所に住んでいるのですか。施設への待機状況は ②女性用のグループホームの建設を望むのですが、できるでしょうか ③市営住宅で独り暮らしの障がい者が火災で死亡しました。警報装置を台所に付けるなど、消防と一緒に防火対策を行

ってほしいのですが、どうですか。福祉部長 ①23年1月末で、障害者手帳の所持者は身体4千38人、知的693人、精神658人。このうち施設には116人が入居し、ほとんどの方は自宅やグループホームで生活している。施設入所の待機者は18人。②現在、市内に4カ所、このうちの1カ所が女性専用の施設。今後、市内の社会福祉法人や事業所などに施設設置の意向を調査し、取り組みを検討していく。建設部長 ③上諏訪・鶴ノ木・榎団地に火災警報器を設置している。入居者の障害状況で機種を選定し、避難経路の確保や啓発文書の配布で予防に努める。◆夢のある狭山市 ①市民広場の活用では、夢のあるイベントを演出しコミュニケーションを作っていくのはいかがでしょうか ②入間小学校が解体されます。区画整理事業を延期して、その跡地に暫定的にでも駅前広場などを整備したらどうですか 市民部長 ①市民の心に残るイベントの開催を検討。文化の薫り高いまちづくりは必要と考える。市長 ②駅へのアクセスと利便性から駅に近接した位置への整備が望ましいと考え、現在の計画が最良と考える。



デッキから市民広場を望む